

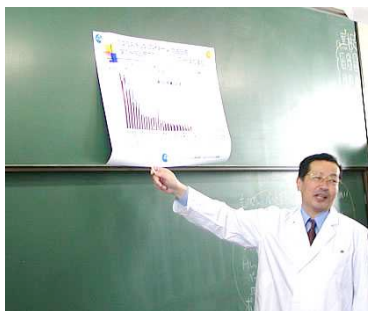
④ 和泉市立北松尾小学校

(1) 事前打ち合わせによる学校別背景とその取り組み



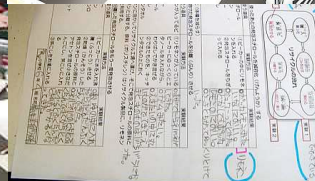
5年生の総合学習の時間で、1年間かけて環境教育に取り組んでいました。電力会社が取り組むCO₂が出ない発電、ガス会社が取り組んでいる工場から出るCO₂を埋める活動、自動車メーカーが取り組むe燃費など、企業が取り組む環境へ配慮した活動を調べていました。また、地域に出向きNO_xを測定する活動も行っていました。「情報メッセンジャーになろう」と、学んだことを発信する活動も行っていました。

(2) プラスチック製品の生産と再資源化について



プラスチックに対するイメージを確認し、プラスチックの原料、プラスチック製品の用途、リサイクル方法について、サンプルボックスを活用しながら学習しました。子供たちのイメージにあるプラスチック製品は、トレイ、プラモデルの本体、消しゴムなどの身近な製品が多いようです。

(3) 3つの実験-減容化・分離・発泡



(4) 子供たちの様子

先生は、環境教育は5年生で取り組んだので、どれだけ覚えているかと思っていたが、質問にも積極的に答えていたので驚いたとおっしゃっていました。担任の先生は、4名中3名の先生が5年生からの持ち上がりで、5年生の時に取り組んだ活動が定着していることを今回の出前授業で確認できたとおっしゃっていました。プラスチックと聞いてどんなイメージを持ちますか?の表を拡大して活用し、学習しました。実験では、西谷さんや神谷さんが話されたことをよく聞いて行動し、実験結果も、ほとんどの子どもたちが熱心にプリントに書き込んでいました。